

平成27年度 白河市当初予算の概要



白河市 総務部 財政課

平成27年度 当初予算の概要について

平成27年度当初予算の概要をお知らせします。

一般会計の予算総額は、455億6千万円となり、過去最大であった前年度予算を上回る「大型予算」となりました。

臨時的な経費である除染対策費約126億円を除いても、「約329億6千万円」と前年度を大きく上回る予算を確保したところであります。

さて、国は昨年、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、人口減少対策などに取り組む姿勢を明確にしました。

27年度予算 政府案にも、地方創生関連事業費として、総合戦略等を踏まえ、個別の施策に約7,200億円、地方財政計画上にも歳出経費として約1兆円を計上し、「地方創生元年」としての印象を強く打ち出しております。

また、過日発表された福島県における当初予算案を見ましても、ロボット産業の振興や人口減少対策など、特徴的な事業に資源を積極的に配分し、新生ふくしま実現のため、新たなステージへと一歩を踏み出すとして、過去最大となる約1兆9,000億円の予算を編成したとの報道がなされたところであります。

東日本大震災から間もなく4年が経過しようとしており、本市においても合併10周年の節目の年を迎え、「みらいの白河を切り拓く」地方創生元年に相応しい節目の年とするため、今年度も、様々な施策に全力で取り組んでまいります。

平成27年度当初予算

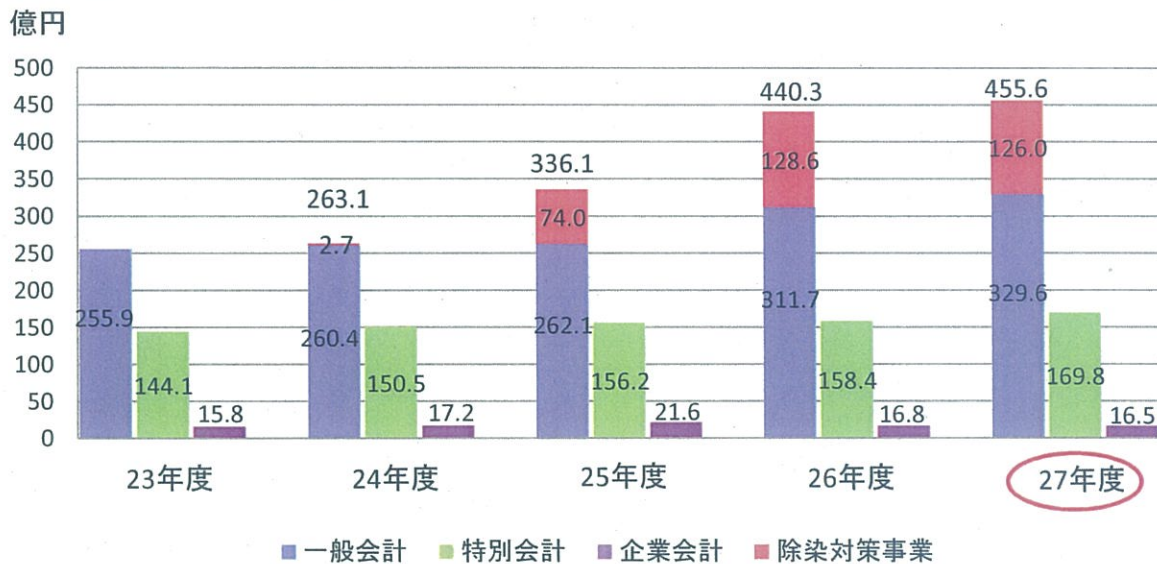
予算規模

◆予算額

(単位：千円)

会計区分	平成26年度 当初予算 A	平成27年度 当初予算 B	比較増減	
			増減額 (B-A)	伸び率 (%)
一般会計	44,030,000	45,560,000	1,530,000	3.5
特別会計	15,835,719	16,976,615	1,140,896	7.2
企業会計	1,683,602	1,649,703	△ 33,899	△ 2.0
合計	61,549,321	64,186,318	2,636,997	4.3

◆予算規模の推移



【参考】

◇除染対策事業費を除いた予算規模(一般会計)

(単位：千円)

予算区分	平成26年度 予算 A	平成27年度 予算 B	比較増減	
			増減額 (B-A)	伸び率 (%)
当初予算額	44,030,000	45,560,000	1,530,000	3.5
うち除染対策事業費	12,858,976	12,603,229	△ 255,747	△ 2.0
差引	31,171,024	32,956,771	1,785,747	5.7

◆ 市 税

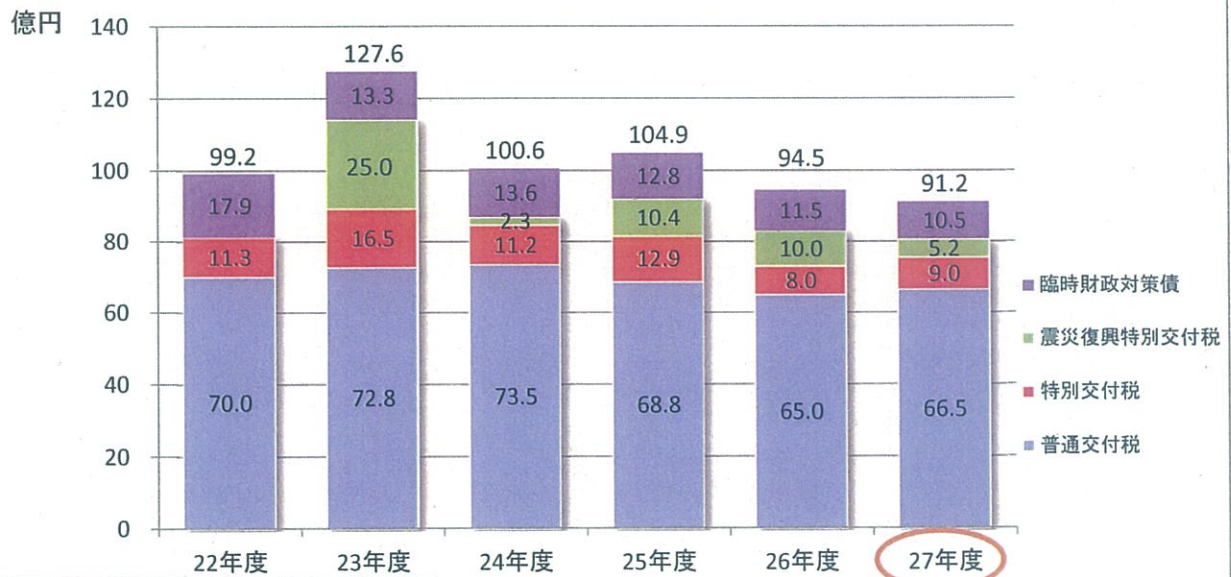
(単位：千円)

税 目	平成25年度 決 算 額	平成26年度 当初予算A	平成27年度 当初予算B	比 較 増 減	
				金額 (B-A)	伸び率 (%)
個 人 市 民 税	2,735,432	2,692,758	2,761,797	69,039	2.6
法 人 市 民 税	823,334	662,180	759,661	97,481	14.7
固 定 資 産 税	3,925,465	3,796,609	3,780,752	△ 15,857	△ 0.4
国 有 資 産 等 所在市町村交付金	26,442	24,888	25,996	1,108	4.5
軽 自 動 車 税	126,699	126,102	134,630	8,528	6.8
市 た ば こ 税	615,331	595,870	581,000	△ 14,870	△ 2.5
特 別 土 地 保 有 税	0	2	2	0	0.0
入 湯 税	8,698	8,500	8,700	200	2.4
合 計	8,261,401	7,906,909	8,052,538	145,629	1.8

◆ 地方交付税(実質的な地方交付税)

(単位：千円)

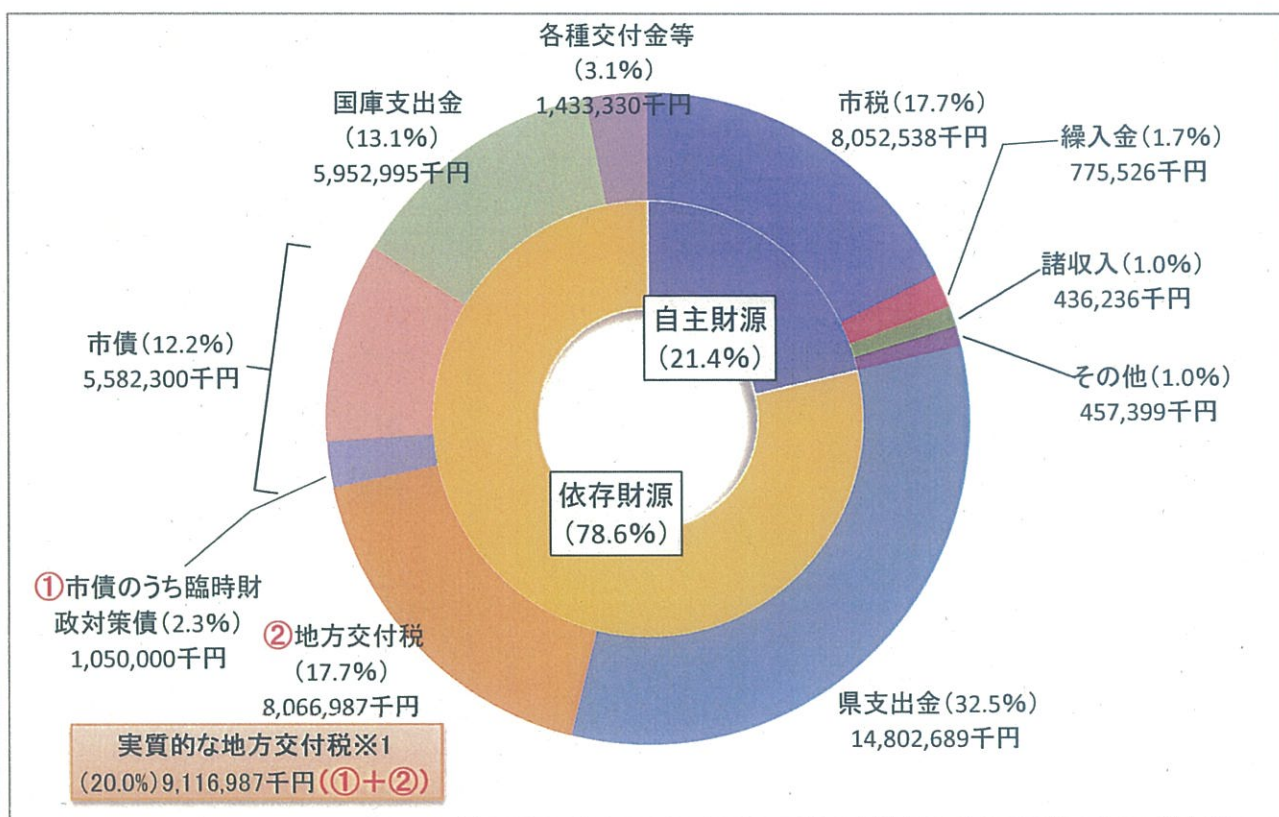
税 目	平成25年度 決 算 額	平成26年度 当初予算A	平成27年度 当初予算B	比 較 増 減	
				増減額 (B-A)	伸び率 (%)
地 方 交 付 税	9,210,407	8,295,788	8,066,987	△ 228,801	△ 2.8
普通交付税	6,884,672	6,500,000	6,650,000	150,000	2.3
特別交付税	2,325,735	1,795,788	1,416,987	△ 378,801	△ 21.1
うち震災復興特別交付税	1,037,448	995,788	516,987	△ 478,801	△ 48.1
臨時財政対策債	1,275,300	1,150,000	1,050,000	△ 100,000	△ 8.7
合 計	10,485,707	9,445,788	9,116,987	△ 328,801	△ 3.5



平成22年度～25年度までは決算額
平成26年度、27年度は当初予算額

一般会計(歳入)

	[予算額]	[対前年度比]	
歳入総額	455億6千万円	+15億3千万円	(+3.5%)
市税	80億5,253万8千円	+1億4,562万9千円	(+1.8%)
地方交付税	80億6,698万7千円	△2億2,880万1千円	(△2.8%)
実質的な地方交付税※1	91億1,698万7千円	△3億2,880万1千円	(△3.5%)
(地方交付税+臨時財政対策債)			
国庫支出金	59億5,299万5千円	+13億5,280万4千円	(+29.4%)
県支出金	148億268万9千円	△5億4,127万2千円	(△3.5%)
うち除染対策交付金	125億9,402万7千円	△2億4,148万2千円	(△1.9%)
市債	55億8,230万円	+13億9,790万円	(+33.4%)
臨時財政対策債を除く	45億3,230万円	+14億9,790万円	(+49.4%)



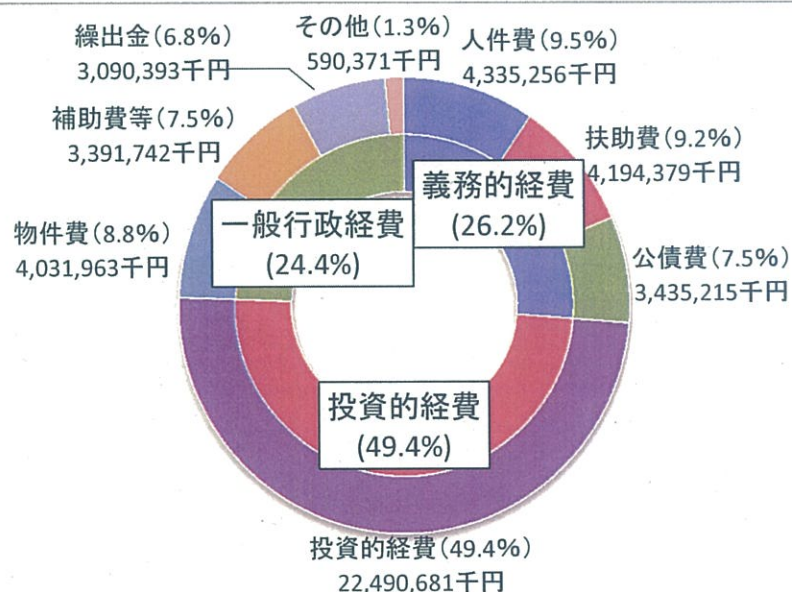
※1 実質的な地方交付税:

市債のうち臨時財政対策債は、地方の財源不足を補てんするため地方交付税の代替えとして発行が認められている地方債であり、元利償還金の全額が後年度の普通交付税において措置されることから、実質的な地方交付税として捉えたもの。

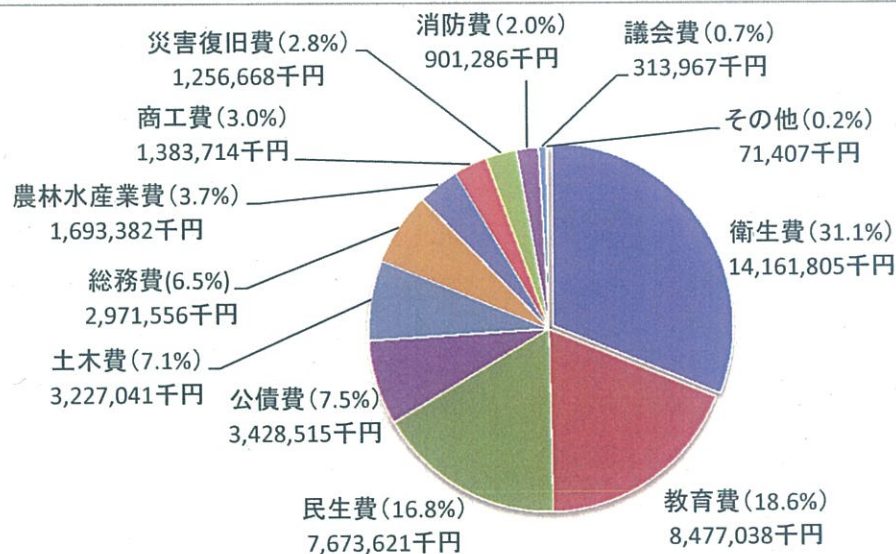
一般会計(歳出)

	[予算額]	[対前年度比]	
歳出総額	455億6千万円	+15億3千万円	(+3.5%)
義務的経費	119億6,485万円	+1億1,058万9千円	(+0.9%)
人件費	43億3,525万6千円	△503万5千円	(△0.1%)
扶助費	41億9,437万9千円	△484万1千円	(△0.1%)
公債費	34億3,521万5千円	+1億2,046万5千円	(+3.6%)
投資的経費	224億9,068万1千円	+12億9,363万7千円	(+6.1%)
うち除染対策事業費	126億322万9千円	△2億5,574万7千円	(△2.0%)
一般行政経費	111億446万9千円	+1億2,577万4千円	(+1.1%)

◆ 歳出(性質別)



◆ 歳出(目的別)



■最重点施策

I 産業の振興

- | | |
|--|----------------------------------|
| ☐ ふるさとビジネス 応援事業 | 1,790万円 ⇒ 「チャレンジ」したい女性や若者を支援します。 |
| ■ 創業支援資金 融資制度 | 1,280万円 ⇒ 経営拡大、「設備投資」を支援します。 |
| ☐ アグリビジネス 連携事業 | 500万円 ⇒ 農産物を活用した「農業の6次化」を進めます。 |
| ■ 人・農地 相談センター事業 | 820万円 ⇒ 農業相談の「ワンストップ」を推進します。 |
| ☐ 周遊型観光 推進事業 | 2,830万円 ⇒ 新たな「観光の魅力」を引き出します。 |
| ■ こども夢フェスタ 支援事業 | 2,000万円 ⇒ 「ゆるキャラ」で笑顔と幸せを提供します。 |

II 子育て支援の推進

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| ■ 延長保育 事業 | 700万円 ⇒ 公立保育園の保育時間を「1時間」延長します。 |
| ■ 放課後児童 健全育成事業 | 1,400万円 ⇒ 受入対象を「小学6年生」まで拡大します。 |
| ☐ 白河っ子応援 事業 | 960万円 ⇒ 子ども達の「個性に応じた子育て」を支援します。 |
| ■ 一時預かり 事業 | 70万円 ⇒ 急な「一時預かり」にも対応します。 |
| ■ 予防接種 事業 | 510万円 ⇒ 「ロタウイルス」の予防接種を追加します。 |
| ■ 産後健診 事業 | 280万円 ⇒ 出産後の「1ヶ月健診」を実施します。 |

III 教育環境の充実(人づくり)

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| ■ 学校図書館 利活用推進事業 | 1,370万円 ⇒ 小学校への「学校司書」の配置を拡充します。 |
| ■ 土曜学習推進 モデル事業 | 60万円 ⇒ モデル校に「土曜学習」を導入します。 |
| ■ 白河の歴史 再発見！事業 | 100万円 ⇒ 子ども達の「郷土への愛着や誇り」を醸成します。 |

IV 地域医療体制の充実

- | | |
|--|---------------------------------|
| ■ <u>みんなが安心できる</u>
<u>地域医療づくり事業</u> | 130万円 ⇒ 市民との連携で「地域医療を充実」させます。 |
| ■ 救急医療体制 強化支援事業 | 2,010万円 ⇒ 医師を確保し「救急医療体制を強化」します。 |
| ■ 小児平日夜間 救急医療事業 | 150万円 ⇒ 子ども達の「夜の急病」に対応します。 |

注) ☐ は、地方創生先行型事業。(平成26年度3月補正予算に計上予定。)

◆重点推進事業

1 安全・安心 プロジェクト

126億9,753万3千円

N0.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
1	拡充	放射線対策課 他	ハード	除染対策事業	12,603,229	
				(1)仮置き場設置事業	956,577	白河、表郷、大信、東の各仮置き場に係る管理運営業務費、モニタリング業務など。
				(2)公共施設除染対策事業	26,415	
				①学校施設等	12,150	公立小中学校、幼稚園、保育所の放射線量モニタリング調査及びホットスポット除染。
				②庁舎、その他の施設	14,265	大信地域の下水道施設。
				(3)市道等除染対策費	402,603	①みさか、中山、新白河高山地区の市道側溝の土砂撤去。 ②延長調査費など。
				(4)農地及び森林除染対策事業	102,229	水田：農作物の基準値100ベクレルの1/2を超える箇所へのゼオライト配布。畑：反転耕起。森林：大信信夫地区、小田川地区ほか7.2haの堆積有機物の除去など。
				(5)民間宅地等除染対策事業	11,086,124	
				①個人住宅除染対策事業	9,895,427	白河：南湖地区ほか5,008戸、大沼・関辺・五箇地区645戸、表郷地区(中野・内松)95戸を除染。
				②事業所除染対策事業	1,186,874	白河地域など24社。
				③住宅ホットスポット事業	3,823	面的除染実施前の地域での対応。条件：高さ50cmで0.5μSv/h以上かつ高さ1mで0.23μSv/h以上の個人住宅。
				(6)除染対策管理費	20,130	放射線量計校正手数料、線量測定機器の購入費など。
				(7)放射線対策事業	9,151	線量マップ印刷費、公共施設等線量調査委託料など。
2	新規	生活環境課	ソフト	消防団員 支援事業	300	事前に登録された市内商店の店頭で、サポートカード(消防団員証)を提示することにより、優待サービスが受けられる制度を構築し、団員の確保と協賛店舗等商店の活性化に寄与する。
3	拡充	生活環境課	ソフト	消防団員 運営事業	10,352	消防団員が消防防災等の活動で出勤した時に支給される報償費について、1人あたり年額5,600円から8,000円に増額することにより、消防団員の確保と活動の強化を図る。
4	継続	生活環境課	ソフト	消費者行政事業	4,652	消費生活相談員を設置し、特に高齢者に被害が多い「なりすまし詐欺」などの防止に努めるほか、未然に防ぐための啓発活動を強化する。
5	継続	生活環境課	ハード	消防屯所等 整備事業	9,000	災害時のみならず、平常時から地域に密着した活動を展開している消防団の拠点である屯所を整備する。
6	継続	生活環境課	ハード	消防車両等 整備事業	70,000	消防団活動に必要なポンプ自動車、小型動力ポンプ、積載車の配備を行う。

2 健康・福祉・医療 プロジェクト

8億9,508万6千円

N0.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
1	地方 創生	こども課	ソフト	白河っ子 応援事業	9,600	保育園・幼稚園の4歳児を対象に「相談会」を開催するとともに、「子育てコンシェルジュ」の設置や情報を発信するためのスマートフォン向けアプリの提供など、総合的な子育て支援を図る。
2	新規	健康増進課	ソフト	産後健診事業(妊産婦健康検査事業)	2,755	産後1ヶ月の健診を実施することにより、出産後の身体的・精神的な不安を解消し、母子ともに安心できる環境を整える。
3	新規	社会福祉課	ソフト	難聴児 補聴器購入費等 助成事業	1,040	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中度の難聴を抱える児童に対し、補聴器の購入費用等の一部を助成することにより、スムーズな言語の習得を促し健全な発育を支援する。
4	新規	高齢福祉課	ソフト	介護支援 いきいき長寿ポイント事業	907	市内の介護施設でボランティア活動をした65歳以上の元気な高齢者を対象に、活動時間に応じたポイントを付与・換金できる施策を実施することにより、高齢者の健康増進と介護予防を図る。
5	新規	こども課	ソフト	一時預かり事業	660	保護者の利便性向上を図るとともに育児の心理的・身体的負担の軽減を図るため、一時的に家庭での保育が困難となる場合に対応する「一時預かり」を実施する団体に、その費用を助成する。
6	新規	社会福祉課	ソフト	生活困窮者 自立支援事業	6,692	生活に困窮している方の相談窓口を開設し、就労支援や住居確保給付金の支給などを通して自立の促進を図る。
7	拡充	健康増進課	ソフト	予防接種事業	172,319	妊娠希望者等への「風しん」や「抗体検査」、「おたふくかぜ」などの任意接種に対する助成を継続するほか、新たに「ロタウイルス」の予防接種を追加することにより、感染症予防の充実を図る。

NO.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
8	拡充	こども課	ソフト	延長保育事業(保育園運営事業)	288,446	子育て支援と就労支援の観点から、公立保育園の保育時間を午後6時から午後7時まで1時間延長し、保護者の負担を軽減する。
9	拡充	こども課	ソフト	放課後児童 健全育成事業 (放課後児童クラブ)	94,671	保護者の就労等の理由により放課後留守家庭になる児童に遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図る。今年度から受入対象を小学6年生まで拡大する。
10	継続	社会福祉課	ソフト	臨時福祉給付金 給付事業	95,842	消費税率の引き上げに伴う低所得世帯の影響を緩和するため、臨時福祉給付金を支給する。
11	継続	こども課	ソフト	子育て世帯 臨時特例給付金 支給事業	38,474	消費税率の引き上げに伴う子育て世帯への影響を緩和するため、臨時特例給付金を支給する。
12	継続	健康増進課	ソフト	特定不妊治療費用 助成事業	5,005	子どもを希望しながらも恵まれない夫婦へ治療費の一部を助成する。
13	継続	社会福祉課	ソフト	障がい者 相談支援事業	7,500	障がいの分野ごとに、きめ細やかなサービスを提供するため、受託事業所の充実を図る。
14	継続	健康増進課	ソフト	災害関連 健康管理事業 「積算線量計(ガラスバッジ)配布」	53,565	15歳以下の子どもには希望者にガラスバッジを配付し、一般成人には電子線量計を貸出し、一人ひとりの生活実態に即した線量を把握することで、健康不安の軽減と健康管理に反映させる。
15	継続	健康増進課	ソフト	内部被ばく検査事業	12,083	ホールボディカウンターを活用し、長期的に検査を実施することにより、市民の健康不安の軽減と健康管理を行う。
16	継続	健康増進課	ソフト	糖尿病ゼロ作戦事業	1,448	糖尿病発症の要因である生活習慣の改善を市民全体に普及させるための糖尿病フェアの開催や糖尿病予防の保健指導などを行う。
17	継続	健康増進課	ソフト	救急医療体制 強化支援事業	20,100	救急搬送を受け入れている二次救急医療機関に、西白河地方5市町村共同で医師の確保を支援し、救急搬送の応需率向上を図り、救急医療体制を強化する。
18	継続	健康増進課	ソフト	みんなが安心できる 地域医療づくり事業	1,344	医師会及び県や関係機関等と連携し、講演会などを開催し、市民との意見交換の場を通じて、安心して医療が受けられる地域医療の充実を図る。
19	継続	こども課	ソフト	保育園 給食検査体制 整備事業	14,933	市内の公立・私立保育園に放射能測定システムを整備、検査員を配置し、食材等を検査することにより、保育園給食の安全・安心を確保する。
20	継続	健康増進課	ソフト	小児平日夜間 救急医療事業	1,461	子どもの健康を守り、安心して子育てができる環境を充実するため、平日夜間の小児救急医療体制の充実を図る。
21	継続	こども課	ソフト	子育てサロン推進事業	1,200	子育てを楽しめる環境づくりを促進するため、乳幼児及びその保護者が気軽に集い交流し、仲間づくりを行う場を運営する団体に対し、その費用の一部を助成する。
22	継続	こども課	ソフト	ホームスタート (家庭訪問型子育て支援)事業	1,892	周囲との関係性を持つことが困難な家庭を定期的に訪問し、子育ての悩みや思いを聞き取ることで、地域社会への参加を促し、孤立化や児童虐待を未然に防止する。
23	継続	高齢福祉課	ソフト	高齢者サロン あったかセンター事業	3,510	高齢者が気軽に集まり、地域の住民と触れ合うことができる高齢者サロン「あったかセンター」の設置を推進し、その運営費を助成するとともに、運営に携わる高齢者サポーターを養成する。
24	継続	高齢福祉課	ソフト	地域包括支援センター運営事業	59,639	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、地域包括ケアシステムの中核的機関である地域包括支援センターの充実・強化を図る。

3 産業・雇用 プロジェクト

11億8,976万1千円

NO.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
1	地方創生	商工課	ソフト	ふるさとビジネス応援事業	17,902	起業にチャレンジしたい女性・若者等起業希望者及び新分野へ挑戦したい第二創業者などに対し、必要な経費の一部を補助することにより、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。
2	地方創生	農政課	ソフト	アグリビジネス連携事業	5,000	本市農業の付加価値向上を図るため、地元農産物を活用した商品開発に対する支援等を行い、農業の6次化を推進する。
3	地方創生	観光課	ソフト	周遊型 観光推進事業	28,320	新たな観光周遊ルートを提供するとともに、首都圏でのプロモーションや観光DVDの作成による情報発信、観光アプリを活用するためのタブレット配備など、積極的な誘客活動を展開する。
4	新規	商工課	ソフト	創業支援 資金融資制度 推進事業	12,791	創業者を対象とした運転資金及び設備資金の融資あっせんを行うため、その資金を指定金融機関に預託するとともに、信用保証料を補助する。
5	新規	商工課	ハード	次世代自動車 普及促進事業	8,861	電気自動車(次世代自動車)の普及に欠かせない充電設備の拡充を図るため、市内の公共施設に急速充電器を設置する。
6	新規	農政課	ソフト	人・農地相談センター事業	8,237	農業に関する様々な相談に対応するため、知識・経験を有した「専門相談員」を設置し、JAや土地改良区など関係機関と連携しながら総合的な農業者支援を行う。
7	新規	農政課	ソフト	白河産米 食味分析事業	571	生産現場での品質・食味の向上を目的として「食味分析器」を導入することにより、付加価値の高い売れる白河産米づくりを支援する。
8	新規	観光課	ソフト	しらかわブランドの魅力アップ推進事業	5,000	南湖公園内にアンテナショップを開設し、県南市町村の魅力ある地場産品を展示・販売することや旬の情報を発信することにより、しらかわ地域全体の風評被害の払拭に取り組む。

No.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
9	拡充	農林整備課	ソフト	有害狩猟鳥獣 捕獲支援事業	6,069	有害狩猟鳥獣捕獲隊への支援を拡充することにより、捕獲体制を強化し、農林業及び生活環境への被害を防止する。
10	継続	まちづくり推進課	ソフト	中心市街地 空き店舗対策事業	14,066	中心市街地内において、商店街の集客力や魅力の向上による賑わいの創出を図るため、商店街の空き店舗を新規店舗等として活用する場合に賃借料や改修費用の一部を補助する。
11	継続	まちづくり推進課	ソフト	まちなか居住 支援事業	4,780	中心市街地への居住促進と快適な暮らしづくりの実現を図るため、中心市街地内における一定の規模を満たした集合住宅の建設及び民間賃貸住宅に居住する子育て世代の家賃の一部を助成する。
12	継続	農政課	ソフト	しらかわ型 農地利用集積 推進事業	17,500	持続可能な農業を構築するため、農地の出し手と受け手となる地域に「協力金」を支給し、農地の集積を推進する。
13	継続	農政課	ソフト	農商工連携 推進事業	6,584	農産物のブランド(白河ブランド)の積極的なPRと新たなブランド戦略を企画・考案する。
14	継続	農林整備課	ソフト	農地維持・資源向上支払交付金事業	136,765	農業資源の適切な管理のため、地域が共同活動で行う農地、水路等の施設の管理や長寿命化のための補修活動を支援する。
15	継続	商工課	ソフト	産業支援センター運営事業	21,623	地域産業の振興等を図るため、産業サポート白河に業務を委託し、地域企業の経営相談、企業間連携の推進、産学官・農商工連携、起業家支援などの事業を実施する。
16	継続	商工課	ソフト	人材育成センター運営事業	6,031	地域の産業人材の育成を図るため、産業サポート白河に業務を委託し、従来のエクセル、ワード及びパワーポイント等のパソコン講座の実施のほか、講堂や研修室等の貸し出し業務を行う。
17	継続	企業立地課	ソフト	企業立地奨励金事業	123,935	本市に工場又は事業所を新設・増設する事業者に対し、奨励金を交付することにより、産業の振興と雇用機会の拡大を図る。
18	継続	農政課	ソフト	営農再開支援事業	41,490	水田の土壌に残留する放射性物質の稲への吸収を抑制するため、カリウム肥料を配布する。
19	継続	農政課	ソフト	がんばるぞ しらかわ 農産物販売促進事業	10,739	原発事故の影響による風評被害を一掃するため、首都圏並びに地元において、安全性のアピールなどキャンペーン活動を展開する。
20	継続	農政課	ソフト	新規就農 総合支援事業	17,300	農業の担い手確保のため、地域農業マスタープランに位置付けられている原則45歳未満の独立・自営就農者に対し補助金を給付する。
21	継続	農政課	ソフト	白河市農業振興特別資金 貸付事業	40,000	緊急的に資金が必要な農業者などを対象とした貸付事業を行うため、市内金融機関に対し、その原資となる資金を預託する。
22	継続	農政課	ハード	大信地域 市民交流センター建設事業	379,575	大信地区の生活交流の拠点となる施設を整備し、生活の利便性向上と地域振興を図る。
23	継続	農林整備課	ハード	強い農業基盤づくり事業	200,000	老朽化した農業用施設を整備・更新することにより、安定した農業基盤を創造し、農業生産活動の向上を図る。
24	継続	農林整備課	ハード	ふくしま森林再生事業	35,016	放射性物質の影響により森林整備や林業生産活動が停滞していることから、間伐や林道整備を一体的に実施することにより、森林の再生を図る。
25	継続	観光課	ソフト	イメージUP 観光誘客事業	3,611	高速バス等の車輦にラッピングをすることにより、県外からの観光客の誘客促進と風評被害等の払拭を図る。
26	継続	観光課	ソフト	こども夢フェスタ 支援事業	20,000	全国的な人気と広がりを見せている「ご当地キャラ(ゆるキャラ)」のイベントを開催し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図る。
27	継続	観光課	ソフト	ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業	7,995	平成27年度に福島県で開催される大型観光キャンペーン事業(デスティネーションキャンペーン)に併せて、様々な観光誘客事業を展開する。
28	継続	商工課	ソフト	再生可能エネルギー導入推進事業	10,000	再生可能エネルギー利用を促進するため、住宅に太陽光発電システムを設置した方に設置費用の一部を補助する。

4 教育・生涯学習 プロジェクト

70億1,067万3千円

No.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
1	新規	学校教育課	ハード	小学校スクールバス購入事業	22,392	老朽化したスクールバスを更新することにより、児童の通学時の安全を確保する。
2	新規	文化財課	ハード	南湖公園 史跡整備事業	46,881	史跡名勝「南湖公園」を良好な状態で後世に継承するため、公園内の散策路の整備及び樹木等管理システムの導入等、適切な保存管理と整備事業を実施する。
3	拡充	学校教育課 図書館	ソフト	学校図書館 利活用推進事業	13,681	市立図書館と連携した学校司書を配置し、学校図書室を有効活用することにより、子どもの豊かな心を育むとともに学力の向上に寄与する。今年度は導入校を8校へ拡大する。
4	拡充	学校教育課	ソフト	土曜学習推進モデル事業	637	希望する小学生を対象として、土曜日に自主的な学習の場を提供することにより、児童の学習意欲を向上させる。現在実施中の表郷地域に加えて白河、大信、東地域にも事業を拡大する。
5	拡充	文化振興課	ソフト	しらかわ音楽の祭典事業	3,800	子どもから大人までが一堂に会し、音楽に関する表現と鑑賞の機会を設けることにより、白河の音楽文化の振興と世代間の交流を図る。今年度は合併10周年記念コンサートを実施する。

NO.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
6	拡充	生涯学習スポーツ課 (大信教育振興課)	ハード	聖ヶ岩ふるさとの森整備事業	13,663	大信地区の「聖ヶ岩ふるさとの森」の遊歩道を再整備することにより、豊かな自然環境とふれあえる空間を提供する。
7	継続	学校教育課	ソフト	食品放射能測定システム検査事業	21,032	市内の自校給食校並びに白河・大信学校給食センターに放射能測定システムを整備、検査員を配置し、食材等を検査することにより、学校給食の安全・安心を確保する。
8	継続	学校教育課	ソフト	いじめ・不登校防止対策推進事業	1,741	心理テスト「ハイパー・キュー・ユー」を導入し、客観的に子どもたちの心理状況を把握することにより、いじめや不登校を未然に防止する。
9	継続	学校教育課	ソフト	学校基礎学力向上推進事業 (小・中学校)	31,816	学力向上を図るため、小・中学校に非常勤講師を配置し、個に応じた指導を展開する。また、授業の質的改善や家庭学習の充実を図る。
10	継続	学校教育課	ソフト	特別支援教育推進事業 (小・中学校)	32,064	特別支援教育支援員を配置し、障がいのある児童生徒が、学校生活や学習に円滑に取り組めるように支援する。
11	継続	学校教育課	ソフト	白河の歴史再発見！事業	983	小峰城等の史跡や中山義秀記念文学館の見学、松平定信公の業績などの学習を通して、白河の歴史や文化について知識を深め、郷土に対する愛着や誇りを醸成する。
12	継続	教育総務課	ハード	釜子小学校建設事業	371,965	昭和44年に建築された校舎や体育館等について、老朽化が著しいことから改築し、安全で快適な教育環境の整備を図る。
13	継続	教育総務課	ハード	白河中央中学校建設事業	834,104	昭和46年に建築された校舎について、老朽化が著しいことから改築し、安全で快適な教育環境の整備を図る。
14	継続	文化振興課	ソフト	市民文化会館運営管理事業	19,113	愛称の募集、ロゴ・シンボルマークの作成、施設備品の選定など、平成28年度開館に向けた準備業務を実施する。
15	継続	まちづくり推進課	ハード	市民文化会館建設事業	4,045,596	現在の市民会館は老朽化が著しく、耐震補強も必要となう。大震災により被害を受けたことから、新たな市民文化会館の建設を行う。
16	継続	文化財課	ソフト	小峰城跡 史跡整備事業	289,540	保存管理計画及び整備計画に基づき、適切な保存管理と将来に向けた史跡の一体整備のため、民有地の公有化を図る。
17	継続	文化財課	ハード	小峰城跡 災害復旧事業	1,256,665	本丸西面、雪見櫓、本丸北面の石垣積み替え工事に着手する。
18	継続	文化財課	ソフト	特別企画展「大 定信」展 開催事業	5,000	本市と友好都市を締結している桑名市と共同により、白河藩主「松平定信」の書画を中心とした文化人としての側面を紹介する特別企画展を開催する。

5 都市基盤 プロジェクト

23億7,705万2千円

NO.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
1	拡充	道路河川課	ハード	道路除雪事業	100,079	冬期間における通行者の安全を確保し、より迅速な除雪を可能にするため、除雪体制を強化する。
2	拡充	地域支援課	ソフト	循環バス運行事業	27,231	市民の日常生活に必要な地域公共交通を確保するとともに、利便性向上のため市内循環バスを運行する。新たに北循環路線を追加する。
3	拡充	水道部施設課	ハード	生活基盤近代化事業	175,200	石綿管の布設替え及び老朽施設の更新を行う。今年度から、五箇・大信地区に加えて「東部(久田野)地区」に着手する。
4	継続	まちづくり推進課	ソフト	景観まちづくり支援事業	2,817	市民が中心となる景観まちづくり協議会の設立から景観まちづくり協定の締結に至るまでの取り組みを支援する。
5	継続	まちづくり推進課	ソフト	歴史的まちなみ修景事業	3,000	景観形成ガイドライン及び地域の景観協定に基づく建築物等の修景事業に対し補助を行う。
6	継続	まちづくり推進課	ハード	丹羽長重廟 周辺整備事業	66,317	丹羽長重廟周辺の小南湖について、園路整備のための用地取得や湖沼整備を実施し、史跡公園として「まちなか回遊」の拠点づくりを行う。
7	継続	まちづくり推進課	ソフト	歴史的風致形成建造物 保存修景事業	14,229	歴史まちづくり法に基づき、「歴史的風致形成建造物」として指定した建造物などの修景費用を助成することにより、歴史的価値のある建造物の保存を図る。
8	継続	まちづくり推進課	ハード	旧脇本陣 柳屋旅館建造物群 整備事業	58,345	明治天皇や新撰組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備を行い、まちなか回遊の拠点とする。
9	継続	道路河川課	ハード	安全・安心身近な施設整備事業	60,000	老朽化の著しい側溝の改修や蓋掛け、歩道の段差解消等により安心して歩ける歩行エリアの整備を行い、安全性や利便性の向上を図る。
10	継続	道路河川課	ハード	道路維持改修事業	116,720	道路や側溝などの未整備箇所について、改修工事を行う。
11	継続	道路河川課	ハード	道路新設改良事業	630,430	道路の新設改良を行う。白坂駅十字線ほか。
12	継続	都市計画課	ハード	街路事業	226,260	乙姫桜プロムナード2号線、3号線の整備を推進する。

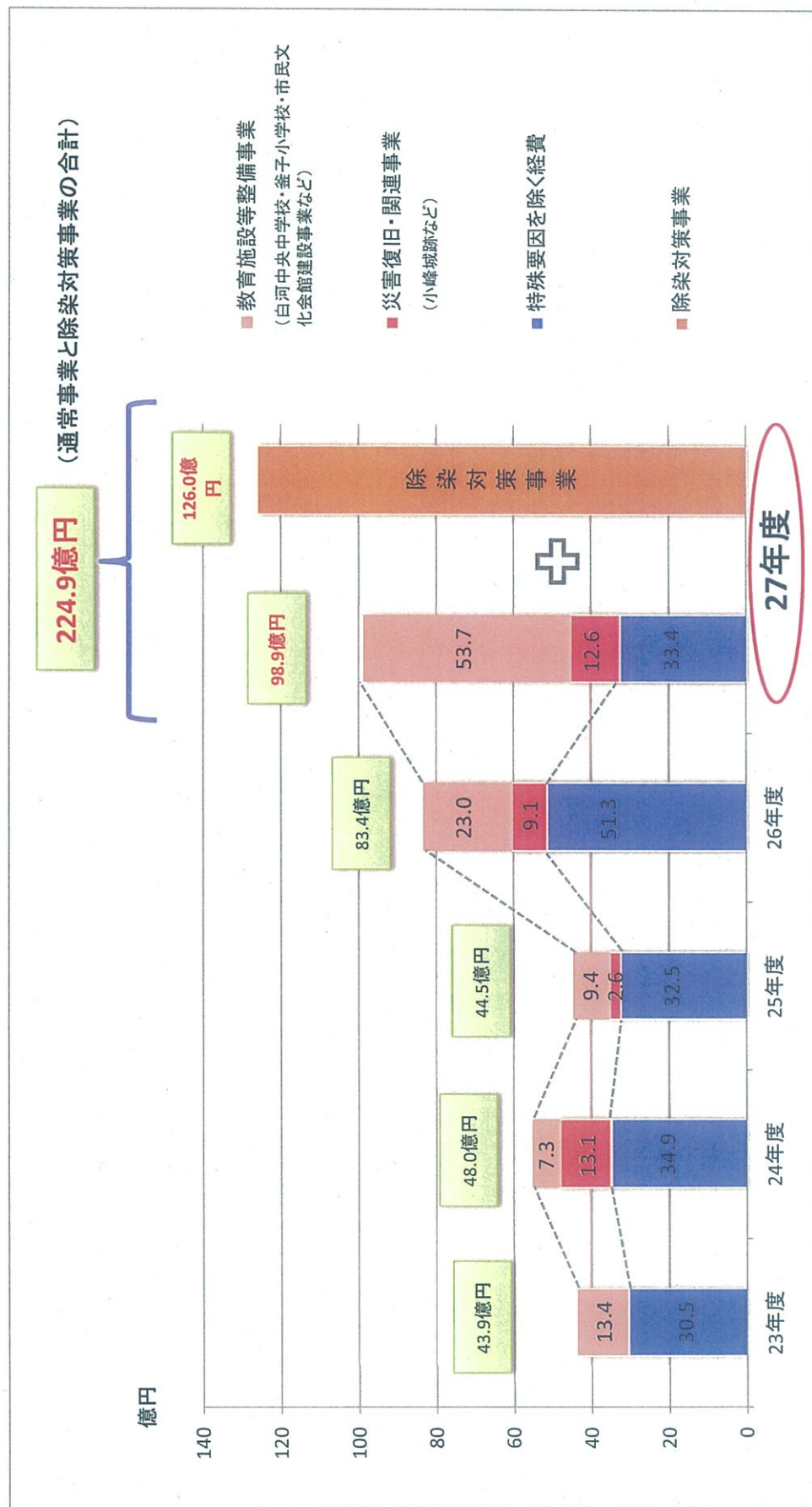
NO.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
13	継続	都市計画課	ハード	旧会津街道 史跡整備事業	25,982	旧会津街道沿いの大信飯土用地区にある歴史的な一里塚の周辺を整備・保存することにより、地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進する。
14	継続	建築住宅課	ハード	公営住宅ストック総合改善事業 (市営住宅改修)	217,618	築後30年以上経過する市営住宅の外壁及び電源容量等の改修を行い、維持管理コストの削減を図るとともに、住環境の整備を図る。
15	継続	建築住宅課	ハード	木造住宅耐震改修助成事業	3,000	耐震診断により、耐震基準を満たさないと判断された木造住宅の耐震改修費用の一部を助成する。
16	継続	地域支援課	ソフト	市内ラッピングバス運行事業	2,203	市の公認キャラクターなどをラッピングすることにより、親しみのあるバスとして認知度を向上させるとともに、観光客や市内利用者の促進を図る。
17	継続	水道部施設課	ソフト	飲用井戸等給水施設整備事業	1,000	未給水の区域において、飲用水等の安定的な確保を図るため、飲用井戸等の整備に要する経費の一部を助成する。
18	継続	下水道課	ハード	公共下水道管路施設整備事業	573,350	下水道基本計画に基づき、健全な都市環境を確保すべく下水道の整備を行う。
19	継続	下水道課	ハード	農業集落排水事業(機能強化)	12,200	農業集落排水処理施設の最適整備構想に基づき、計画的な改修を行うことにより、施設の長寿命化を図る。
20	継続	下水道課	ハード	合併浄化槽整備推進事業	61,071	市が合併処理浄化槽を設置し、使用者から料金を徴収することにより、適切な維持管理を行う。

6 環境・コミュニティ プロジェクト

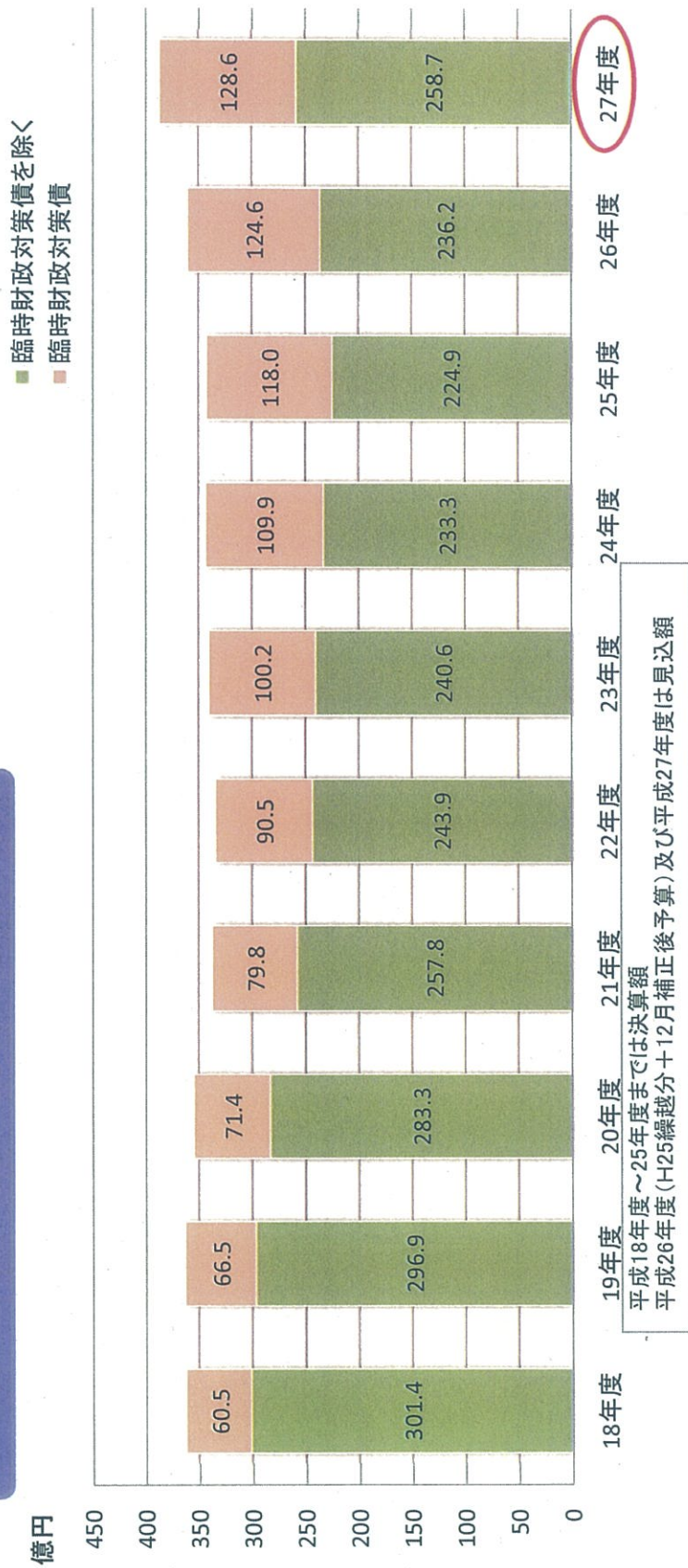
2億6,241万3千円

NO.	区分	担当課名	分類	事業名	事業費 (千円)	事業の概要
1	地方 創生	企画政策課	ソフト	まちづくり・ひとづくり事業	6,000	街なかの空き店舗を活用し、若者が集い、勉強会やボランティア活動などができる拠点「コミュニティ・スペース」を整備するとともに、積極的なコミュニケーションの機会を創造する。
2	地方 創生	企画政策課	ソフト	「地方版総合戦略」策定事業	8,000	国の「まち・ひと・しごと創生法」の成立をうけ、人口減少対策の取り組みを定める「地方版総合戦略」を策定する。
3	新規	企画政策課	ソフト	空き家等実態調査事業	12,000	市内空き家の現状を調査し、危険家屋の把握をするとともに、今後の活用を検討する。
4	新規	地域支援課	ソフト	地域おこし協力隊活用事業	9,082	「地方の活性化」に積極的な人材を都市地域より招聘し、地場産品の開発や観光振興などについてアイデアを出してもらい、新たな魅力の醸成と地域の活性化に寄与する。
5	新規	観光課	ソフト	南湖公園 水質等保全調査事業	616	大学との共同研究事業として南湖公園の水質等の調査を実施し、南湖地域の環境保全に取り組む。
6	拡充	地域支援課	ソフト	ふるさと納税推進事業	1,607	ふるさと納税制度の改正を契機として、クレジット決済システムの導入など寄附者の利便性を高めるとともに、「白河ブランド」を返礼品に活用することで白河市の魅力を発信する。
7	継続	生活環境課	ソフト	不法投棄廃棄物監視・撤去業務	2,042	不法投棄の監視パトロール業務、不法投棄の未然防止及び投棄廃棄物の撤去を行う。
8	継続	生活環境課	ソフト	資源回収奨励金助成事業	2,600	市民の自発的な資源回収活動に対して、回収量に応じた奨励金を支給することにより、ごみの減量化・資源化・再利用を推進する。
9	継続	農林整備課	ソフト	森林環境交付金事業	14,444	小・中学生を対象とした森林環境学習の実施や県産材を活用した公共施設を整備することにより、森林を守り育てる意識を育む。
10	継続	生活環境課	ソフト	ビャッコイ自生地保全事業	115	福島県の天然記念物である「ビャッコイ自生地」を保護し、後世に引き継ぐため、策定した保全計画に基づき、土砂流出防止などの保護策を実施した現状等を経過観察する。
11	継続	観光課 農林整備課	ソフト	南湖公園内赤松等維持管理事業	19,483	南湖公園内の赤松を良好な環境で後世に引き継ぐためには、松くい虫の防除が必要であることから、空中散布や伐倒駆除、薬剤の樹幹注入などを行い、環境の保全に努める。
12	継続	地域支援課	ハード	集会所整備事業	142,172	地域コミュニティの拠点施設となる集会所の整備を行う。
13	継続	地域支援課	ソフト	地域の底力 再生事業	10,613	地域活動を活性化させることにより、地域環境問題の提起や住民同士の結びつきを生むような交流促進を図る。
14	継続	地域支援課	ソフト	地域づくり活性化支援事業	5,500	地域特性を活かした自発的で独自性のある市民活動に対し、その費用の一部を助成することにより、地域活力の向上に寄与する。
15	継続	農林整備課	ハード	農業用施設整備「結」支援事業	28,000	町内会が行うU字溝敷設や農業用施設の修繕等に対し、原材料支給及びバックホウ等の機械を貸与し、農業用施設の保全活動を促進させる。
16	継続	地域支援課	ソフト	女性のキャリア形成支援事業	139	女性の就職・再就職支援、リーダー的女性の育成を図る講座を実施する。

◆ 投資的経費の状況



地方債残高の推移(一般会計)



区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
市債残高(千円)	36,185,304	36,337,604	35,471,654	33,756,346	33,440,184	34,078,841	34,314,960	34,283,318	36,082,644	38,726,100
臨時財政対策債	6,049,463	6,649,172	7,140,643	7,976,165	9,047,697	10,021,655	10,985,045	11,795,657	12,463,112	12,860,582
臨時財政対策債を除く	30,135,841	29,688,432	28,331,011	25,780,181	24,392,487	24,057,186	23,329,915	22,487,661	23,619,532	25,865,518

会計別当初予算の推移

(単位:千円)

一	会 計 名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 A	平成27年度 B	比 較 増 減	
							増減額 (B-A)	伸び率 (%)
一般 会 計	計	25,590,000	26,310,000	33,610,000	44,030,000	45,560,000	1,530,000	3.5
	うち 除 染 対 策 事 業 費		269,624	7,398,593	12,858,976	12,603,229	△ 255,747	△ 2.0
	差 引	25,590,000	26,040,376	26,211,407	31,171,024	32,956,771	1,785,747	5.7
特 別 会 計	国有林野払受費特別会計	185	185	185	185	185	0	0.0
	教育財産特別会計	552	558	557	564	568	4	0.7
	小田川財産区特別会計	892	6,112	877	935	815	△ 120	△ 12.8
	大屋財産区特別会計	190	144	144	148	150	2	1.4
	樋ヶ沢財産区特別会計	284	238	281	299	301	2	0.7
	土地造成事業特別会計	25,092	23,771	23,437	68,022	47,452	△ 20,570	△ 30.2
	国民健康保険特別会計	6,707,608	6,600,007	6,700,547	6,741,426	7,752,855	1,011,429	15.0
	後期高齢者医療特別会計	508,847	519,442	526,277	538,660	573,858	35,198	6.5
	介護保険特別会計	3,976,583	4,659,140	4,689,161	4,900,147	5,160,385	260,238	5.3
	地方卸売市場特別会計	24,136	24,843	23,280	25,721	26,286	565	2.2
	公共下水道事業特別会計	1,884,550	1,737,222	1,874,677	2,279,684	2,059,372	△ 220,312	△ 9.7
	農業集落排水事業特別会計	905,120	1,087,347	1,147,179	834,425	822,732	△ 11,693	△ 1.4
	個別排水処理事業特別会計	56,840	60,941	66,783	118,029	108,413	△ 9,616	△ 8.1
	簡易下水道事業特別会計	320,636	332,426	565,243	327,474	423,243	95,769	29.2
	小 計	14,411,515	15,052,376	15,618,628	15,835,719	16,976,615	1,140,896	7.2
企業会計	水道事業会計	1,503,503	1,520,414	1,512,887	1,570,254	1,545,178	△ 25,076	△ 1.6
	工業用水道事業会計	76,880	196,430	651,759	113,348	104,525	△ 8,823	△ 7.8
	小 計	1,580,383	1,716,844	2,164,646	1,683,602	1,649,703	△ 33,899	△ 2.0
合 計		41,581,898	43,079,220	51,393,274	61,549,321	64,186,318	2,636,997	4.3